



謹んで新年のお祝いを申し上げます

皆様にとって良い年となりますよう ご祈念申し上げますとともに、本年もご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(栄東連合町内会 役員一同)



■■ 令和元年12月12日(木) ■■

～雪像づくり協力も協議。第3回町内会長会議～

年の瀬を迎え、12月12日、栄東連合町内会の第3回町内会長会議が日の丸会館で開催されました。

会議の議題のひとつである雪まつりつどーむ会場へのウェルカム雪像設置については、役員の高齢化など課題はありますが、今年度は、区のコーディネートで東区緑化協会の協力が得られ、子どもたちが制作した雪だるまを飾るひな壇の事前準備するなどの報告があり、例年どおり栄東地区として協力していくことが話し合われました。来場者も雪だるま制作に参加する子どもたちも楽しみにしており、連合町内会としてもイベント成功に向けて準備を加速させてまいります。

(写真は昨年の雪像制作の様子)



■■ 令和元年12月13日（金） ■■

～特殊詐欺は許さない！。栄東で街頭啓発～

12月13日は、年内最後の公的年金の支給日です。栄東連合町内会防火防犯部では、特殊詐欺を根絶すべく、街頭で啓発キャンペーンを実施しています。この日、嶋田久昭・防火防犯部長や栄北東町内会の後藤会長など7名が、北洋銀行栄町支店前で啓発品を配布しながら、「振り込め詐欺にご注意ください」と銀行のATM利用者や道行く方々に呼びかけを行いました。

道内では令和元年（11月末暫定値）に100件・被害総額約3億円の特殊詐欺被害が発生しました。手を変え品を変えて巧妙な詐欺が次々に発生しています。札幌圏では、70件の認知件数のうち架空請求が43件と6割を超えています。特殊詐欺の被害を防止するためには、高齢者はもちろんのこと、家族をはじめとする地域全体が特殊詐欺に関心を持つことが大切です。みんなで手口や被害内容を共有して、詐欺被害を防ぎましょう。栄東連合町内会では、キャンペーンなど地道な活動を継続して実施してまいります。



■■ 令和元年12月13日（金） ■■

～歳末の安全を守る。青パト隊出発！～



令和元年度歳末「安全・安心の集い」が12月13日に開催され、地域で安全パトロールを担っている東区青パト隊の出発式が実施されました。これは、歳末が事件や事故の多発が懸念されることから、地域の力で安全安心を守るために重点的にパトロールを実施し、地域住民などに防犯意識を高めてもらおうと毎年実施されているものです。



会場の伏古記念会館（東区伏古7条2丁目）には、東区10地区の町内会などの防犯関係者が結集し、まず、主催者を代表して西山靖・札幌東防犯協会会長が挨拶し、永淵宏・東区連合町内会連絡協議会会長、坂東茂利・札幌方面東警察署長などの激励を受けました。また、道警の音楽隊とカラーガード隊の演奏などが花を添え、72台の青パトを代表して嶋田好久・札幌東地域安全推進委員連絡協議会会長が青パト隊の出動申告を行いました。



その後、来賓や出席者に見送られ、東警察署のパトカーに先導されて東区10地区72台の青パト隊が歳末のパトロールに向けて次々に出発して行きました。栄東地区からも4台の青パト隊が参加しており、その姿は非常に頼もしく、こうした青パト隊の地道な活動が犯罪の起きにくい地域づくりにつながり、さらに安心安全な東区そして栄東地区をもたらしてくれることでしょう。日々の皆様の活動に感謝申し上げます。